

2023年度

科目名称	精神障害の作業療法応用
授業コード	AE320
英語名称	Application of Occupational Therapy Theory: Psychosocial Dysfunction
学期	2023年度前期
単位	1.0
担当教員	大関 健一郎 (医療科学部), 古賀 誠 (医療科学部), 税所 裕子 (医療科学部), 金丸 聡志 (医療科学部), 黒川 喬介 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	1, 2年次で行った、作業療法基礎技法学・実習、作業療法評価学、精神障害の作業療法基礎を振り返り、それらに関する知識や、技術の再検討を行い、3年後期からの臨床実習に対応できる能力を養成する。また、臨床家の先生からの実践報告を聞き、現場のイメージを広げる。作業をどのように治療につなげるのかを学習する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本科目は上記内容について作業療法専門分野で業務に従事していた実務経験のある教員による実践的科目である。
到達目標	ディプロマ・ポリシーに掲げる、様々な側面から対象者を全人的・統合的に理解する上不可欠な基礎医学的知識および作業療法を理解し基本的な臨床技能を実践できる【知識・技能】、科学的根拠に基づき、作業療法を実践するための基本的な科学的思考力、問題解決能力を修得している【科学的思考力】、人々と良好な関係を築くために話を傾聴し共感することができる【コミュニケーション力】を実現するために以下の知識と能力を養うことを目標とする。 1、精神障害の作業療法基礎で獲得した知識をもとに、より応用的な思考レベルに到達する。
計画・内容	1) 臨床業務の基礎知識 (処方箋～治療) (黒川) 2) 回復状態と目標 (大関) 3) 評価項目 (第一印象～対人関係) (大関・黒川) 4) 治療計画の要素 (大関) 5) 作業・その治療的応用 (タイル、料理、木工) (大関) 6) 作業・その治療的応用 (紙工作、マクラメ、銅板) (黒川) 7) 作業・その治療的応用 (モザイク、陶芸、織物) (大関) 8) 作業・その治療的応用 (籐工芸、革細工、手芸) (黒川) 9) 海外のリハビリテーション、認知症病棟 (○税所・大関・黒川) 10) 作業・その治療的応用 (絵画、園芸、ゲーム) (大関・黒川) 11) 作業・その治療的応用 (園芸、音楽活動) (黒川) 12) アルコール依存症の作業療法 (○金丸・大関・黒川) 13) 事例とICF (銅板細工、手芸) (大関・黒川) 14) 精神科デイケアの実践 (○古賀・大関・黒川) 15) 昭和大学烏山病院での実践報告 (○古賀・大関・黒川) 注) 14, 15回目は連続で行います。 大関: 作業療法士 黒川: 作業療法士 税所: 作業療法士 古賀: 作業療法士 金丸: 作業療法士
授業の進め方	板書、配布資料、PowerPointや動画を使用した授業形式、グループワークでのディスカッション形式。

2023年度

能動的な学びの実施	内容によっては、グループワークでのディスカッションや演習を行い、積極的な発言を求める。
授業時間外の学修	授業前の予習は、教科書、参考書等の該当箇所を読み、不明な点をまとめておく。 授業後の復習は、教科書、参考書、プリントと授業内容を関連付けて自分の講義ノートを整理すること。 (合計60時間程度)
教科書・参考書	・日本作業療法士協会：作業・その治療的応用（第2版）2008、協同医書出版
成績評価方法と基準	定期試験期間に試験を行う。得点60%以上を合格とする（100%）。
課題等に対するフィードバック	授業中などに質問があった場合、その都度フィードバックを行う。
オフィスアワー	「CampusSquareを参照」
留意事項	2年後期で行った精神障害の作業療法基礎につづく科目である。2年後期では、各疾患（統合失調症、気分障害、神経症、境界性パーソナリティー障害、摂食障害、てんかん、依存症候群、認知症）の理解と作業療法の展開を学習してきたが、3年前期の本科目では、各精神疾患に対して、治療構造に乗っ取った、具体的な治療計画の立て方と効果測定について学習し、総合臨床実習を行う上で必要な知識と技術の体得を目指す。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業方法 ・zoomによるオンライン授業と課題学習、オンデマンド授業を組み合わせ実施する。 評価方法 ・期末レポートで評価する（100%）